

取り組んだ日付を記入しよう。取り組めなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付
① 漢字練習プリント 56～59 を少しずつ進めていくこと。次回の国語授業で 58 の漢字テストを行います。	
② 語彙プリント 重要語句 555 [次の国語授業で 371～407 (「動揺」～「ばつが悪い」) のテストを実施します] →言葉を聞いて意味がだいたい想像できる、その言葉が入った文章が示された時に使われ方がふさわしいかふさわしくないかが分かる、というところまでは学習しておくことをおすすめします。	
③ 第 31 回 宿題その一 [解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう]	
④ 第 31 回 宿題その二 [( ) の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう]	
⑤ 「家庭学習用教材 (9 月)」に取り組む (大問一つずつ、それぞれ 30 分前後を目安に取り組むこと。こちらについても、解答の根拠や問題の条件等に線を引いて解くとよいでしょう。また、間違えた問題を中心に解説を読んでおくこと。巻末の解答をていねいに切り取って保護者の手元に置いておき、解説を読ませる時だけ貸し出す形をおすすめします)。	

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの	日付
① 第 31 回 授業で解いた演習の [記号選択] 設問の復習 →授業中のメモを見てどうしてその答えになるのか確認しましょう。特に、正しくない選択肢は「どの部分が正しくないのか」まで確認できるとよいです。	
② 第 31 回 授業で解いた演習の [記述] 設問の復習 →×または空欄だった問題はメモを見ながらでよいのもう一度自分の力で書いてみましょう。次の国語授業時に提出があれば添削して返却します。	

### 担当からの連絡

今回は、「科学」をテーマにした文章を扱いました。

筆者の考える「科学」の在り方と「科学」に対する一般的なイメージとの違いを理解していきましょう。その中で、「科学は、正しいと信じられている知識に対して反証を積み重ねながら、真理にたどりつこうとする学問である」という筆者の考えを読み取ってほしいところです。

設問ですが、傍線部の近くに書かれている内容をヒントに考える問題がほとんどです。解答の手がかりとなる箇所をとらえて解答を導き出してほしいところです。チャレンジ問題はやや難度が高くなっていますが、要旨の読み取りです。設問で考えてきたことや手掛かりとなる言葉、文章から読み取ったことをもとに、少しでも要素を盛り込んで書いていってほしいと思います。

※今回の教材に、「文章を読むときに意識してほしいこと」について、掲載しました。次回は「設問を解くときに意識してほしいこと」について掲載いたします。これらのことを意識して演習に取り組んでほしいと考えています。